

令和6年度「海と日本 PROJECT」イベント実施報告

一般社団法人 日本中小型造船工業会

当会は、日本財団による助成事業「海と日本 PROJECT」の事業のひとつ、「この地球で一番大きな工業製品『船』を見に行こう！」をテーマに、令和6年5月～令和7年3月にかけて造船所構内での祭イベントや体験乗船会、各種見学会等を開催しました。

今年で10年目を迎える本事業は、全国各地に所在する造船所や関連企業の協力のもと、小中学生及び地域の方々に、楽しみながら海事産業を知ってもらうことを目的とし、7月～10月頃に夏休みから秋のイベントシーズンを中心に実施しております。本年度の開催回数は延べ24回、参加者は12,000名を超える人数となりました。

東北ドック鉄工(株)、向島ドック(株)、墨田川造船(株)、本瓦造船(株)、佐世保重工業(株)、(株)新来島どくでは、工場見学等と併せた構内での祭イベントも実施し、多くの従業員ご家族や地元住民の方々に来場いただきました。また、ツネイシクラフト&ファシリティーズ(株)建造の水素燃料船「ハイドロびんご」の体験乗船会を今年度は清水港及び呉港で開催し、環境に優しい脱炭素燃料水素について学びながら、クルーズを楽しんでもらいました。

3月9日には、横浜港でマリーンルージュ乗船会を実施。当会が開催する乗船会としては初めて、障害者団体の方々を招待し、船を楽しみながら、海・船・造船所の重要性について学んでいただきました。

さらに今年度は、これらのイベントの様子をフネコネ CAJS 特設ページ、当会及び(有)小林船舶設計の公式SNSで公開し、より広い地域へ魅力発信をすることができました。子ども達を含む多くの人々に船や海に対する好奇心を喚起し、地域の雇用や経済を支える海事産業の大切さを知ってもらう機会を提供することができました。

※見学会実施一覧は別表参照

